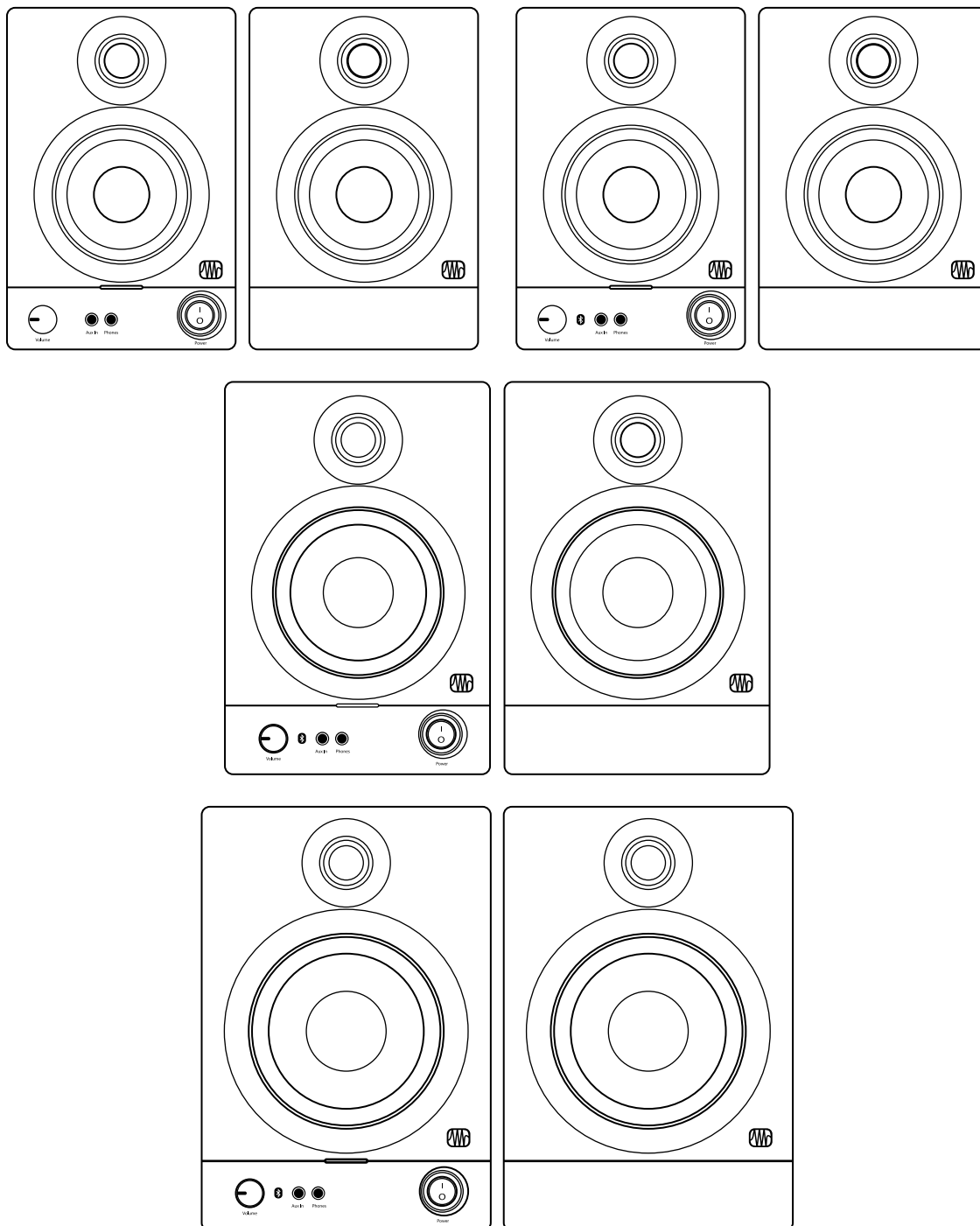


# Eris<sup>®</sup> シリーズ3.5/3.5BT/4.5BT/5BT

メディアリファレンスモニター

オーナーズマニュアル



# 目次

## 1 概要 — 1

- 1.1 はじめに — 1
- 1.2 製品登録 — 1
- 1.3 パッケージ内容 — 2

## 2 接続とコントロール — 3

- 2.1 リアパネル — 3
  - 2.1.1 入力 — 3
  - 2.1.2 電源 — 3
  - 2.1.3 音響調整コントロール — 3
  - 2.1.4 スピーカー接続 — 4
- 2.2 アクティブスピーカーフロントパネル — 4

## 3 接続図 — 5

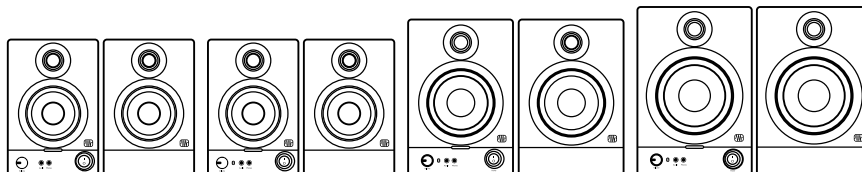
- 3.1 基本セットアップ — 5
- 3.2 オーディオ接続 — 5
- 3.3 Bluetoothペアリング (Eris 3.5BT、4.5BT、5BTのみ) — 6

## 4 リソース — 7

- 4.1 技術仕様 — 7
- 4.2 最高のパフォーマンスが得られるようErisモニターを設定する — 7
- 4.3 トラブルシューティング — 8

## 1 概要

### 1.1 はじめに



このたびはPreSonus® Eris®シリーズメディアリファレンスモニターペアをご購入いただきありがとうございます。ゲーム、ホームコンテンツ制作、お気に入りのアルバム鑑賞などに最適なErisメディアリファレンスモニターは、スムーズで正確な周波数特性を備え、スタジオオクオリティのサウンドを提供します。

PreSonus Audio Electronicsでは、継続的な製品の機能向上に努めており、お客様のご意見を尊重しています。目的を達成するには、「本当の専門家」である大切なユーザーの方々の声を聞くのが一番であると信じています。本製品のご購入を通じたご支援に深く感謝いたしますと共に、Erisのご使用をお楽しみいただけることを心より願っております。

**このマニュアルについて：**Erisメディアリファレンスモニターを他のスタジオ機材に接続する前に、まずこのマニュアルに目を通し、各機能、使用法、適切な接続手順についての理解を深めることをおすすめします。こうすることで、インストールやセットアップでの問題を未然に防ぐことができます。

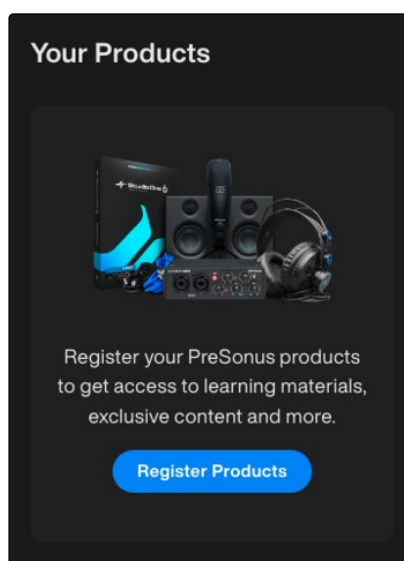
このマニュアルでは、4つのErisメディアリファレンスモニターすべての機能について説明します。Bluetooth接続はEris 3.5BT、Eris 4.5BT、Eris 5BTでのみ使用できます。

マニュアルの各所に記載されている「パワーユーザー向けヒント」では、Erisメディアリファレンスモニターを最大限に活用しエキスパートになるためのヒントを紹介しています。

### 1.2 製品登録

PreSonusでは最高のユーザー体験の提供に努めています。My PreSonusは、登録ユーザー様のあらゆるニーズに応えるためのワンストップポータルです。My PreSonusアカウントでは、PreSonusハードウェアとソフトウェアの登録状況の確認、サポートへの連絡、注文の追跡などが行えます。

Erisメディアリファレンスモニターを登録するには、**My.PreSonus.com**を開き、画面上の指示に従います。



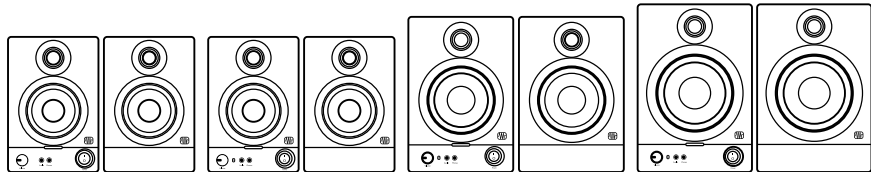
または

Apple App StoreやGoogle PlayからMyPreSonusアプリをダウンロードします。



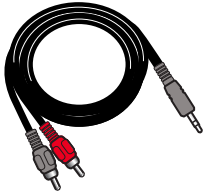
### 1.3 パッケージ内容

Erisメディアリファレンスモニターのパッケージには次が同梱されています。

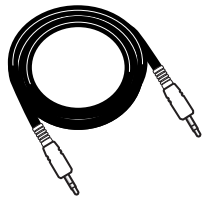


(1ペア) PreSonus Erisメディアリファレンスモニター (1アクティブ、1パッシブ)

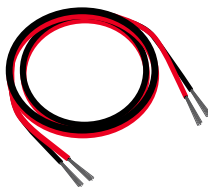
(1) 1.5m 1/8" TRS to 2x RCAケーブル



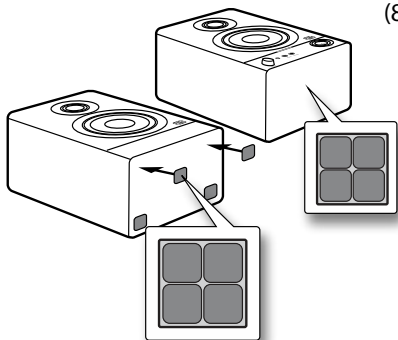
(1) 1.5m 1/8" TRSステレオケーブル



(1) 2mスピーカーケーブル



(8) アイソレーションパッド



(1) 英語版クイックスタートガイド



(1) IEC電源ケーブル

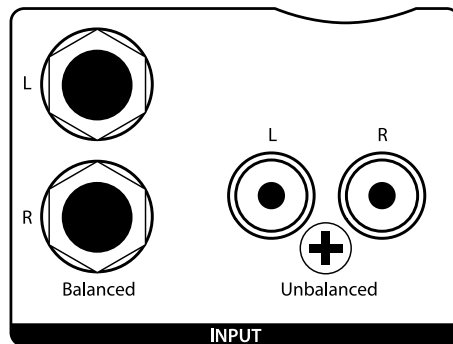


## 2 接続とコントロール

Erisメディアリファレンスモニター各ペアは、アクティブスピーカー1基とパッシブスピーカー1基から構成されます。接続のほとんどがアクティブスピーカー上にあります。このスピーカーが信号と電力をパッシブスピーカーに提供します。例外はスピーカーケーブル接続端子で、これらは電力と信号をアクティブスピーカーからパッシブスピーカーに送信します。

### 2.1 リアパネル

#### 2.1.1 入力



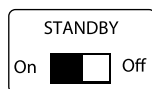
**ラインレベル入力：**Erisアクティブスピーカーはリアパネルの2種類の入力ペアを選択肢として提供します。左右バランス1/4" TRS、左右アンバランスRCAです。これらの入力は、オーディオソースからのラインレベル信号を受信し、モニターのパワーアンプに信号を供給します。これらはフレキシブルな接続性を提供するためのもので、複数のソースをスピーカーに同時に接続するためのものではありません。3つ目の1/8" ステレオ入力はフロントパネルにあります。詳しくは、セクション2.2をご参照ください。

**パワーユーザー向けヒント：**左入力（バランスまたはアンバランス）はアクティブスピーカーを駆動する信号をアンプに送信し、右入力はパッシブスピーカーを駆動する信号をアンプに送信します。PreSonusはアクティブスピーカーをミキシング空間の左側に、パッシブスピーカーを右側に配置することをおすすめします。ただし、アクティブモニターにあるコントロールを作業空間の右側に配置させたい場合、正しいステレオイメージが保たれるよう、オーディオソースからの入力を左右反転させる必要があります。

#### 2.1.2 電源

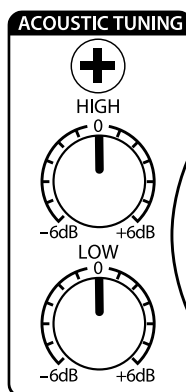


**IEC電源端子：**Erisアクティブスピーカーは標準IEC C7電源コードに対応しています。電源スイッチはアクティブスピーカーのフロントパネルにあります。



**スタンバイ：**スタンバイがオンの場合、40分以上音声再生されないとErisモニターはパワーセーブモードに入ります。オーディオが再開されると、パワーセーブモードはオフになります。

#### 2.1.3 音響調整コントロール



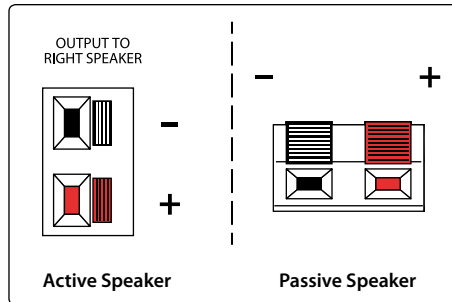
**High（高）：**10kHzを超えるすべての帯域を±6dBでブーストまたはカットします。

**パワーユーザー向けヒント：**高域コントロールはハイシェルフEQで、10kHzを超える帯域をブーストまたはカットします。このEQは、ホームステレオやカーステレオに搭載されているトレブルコントロールに似ています。指定のカットオフ周波数を超えるすべての周波数でゲインを上げたり下げたりします。シェルビングEQは、ある帯域全体を追加したり削除したりしてサウンドを大きく変化させることができます。

**Low（低）：**100Hzを中心とする帯域を±6dBでブーストまたはカットします。

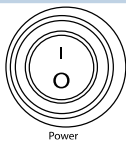
**パワーユーザー向けヒント：**[Low] コントロールはローシェルフEQで、100 Hzを下回る帯域をブーストまたはカットします。この機能は、ホームステレオやカーステレオの低域コントロールに相当します。指定のカットオフ周波数を下回るすべての周波数でゲインを上げたり下げたりします。シェルビングEQは、ある帯域全体を追加したり削除したりしてサウンドを大きく変化させることができます。

### 2.1.4 スピーカー接続



**スピーカー端子：**この接続は、Erisパッシブスピーカーへの電力の供給および信号の送信に使用されます。Erisアクティブスピーカーの正極と負極端子をErisパッシブスピーカーの対応する端子に接続します（正から正、負から負）。

## 2.2 アクティブスピーカーフロントパネル

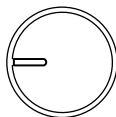


**電源スイッチ：**電源のオン/オフを切り替えるスイッチです。



**電源/BluetoothステータスLED：**アクティブスピーカーの中央のLEDは電源の状態を示します。このLEDにはBluetoothの状態も次のとおり表示されます。

- ・ **白に点灯：**Erisスピーカーの電源がオンになっており、スタンバイモードになっています。
- ・ **青に点灯：**Erisスピーカーの電源がオンになっており、スタンバイモードではありません。
- ・ **青と緑に点滅 (Eris 3.5BT、4.5BT、5BTのみ)：**Erisスピーカーはペアリングモードになっています。
- ・ **緑に点灯 (Eris 3.5BT、4.5BT、5BTのみ)：**ErisスピーカーはBluetoothデバイスとペアリングされています。



Volume

**ボリューム：**増幅される前の入力信号のボリュームレベルを設定します。これは、フロントパネルのヘッドフォン出力のボリュームコントロールでもあります。



Aux In

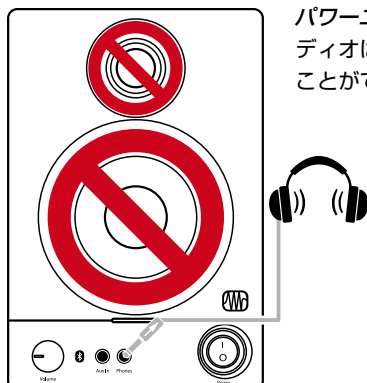
**Aux In：**このステレオ1/8”端子は、素早いリファレンスチェック用にメディアプレーヤーにパッチングする際に使用します。

**パワーユーザー向けヒント：**この入力バックパネルのすべての入力と合算されます。



Phones

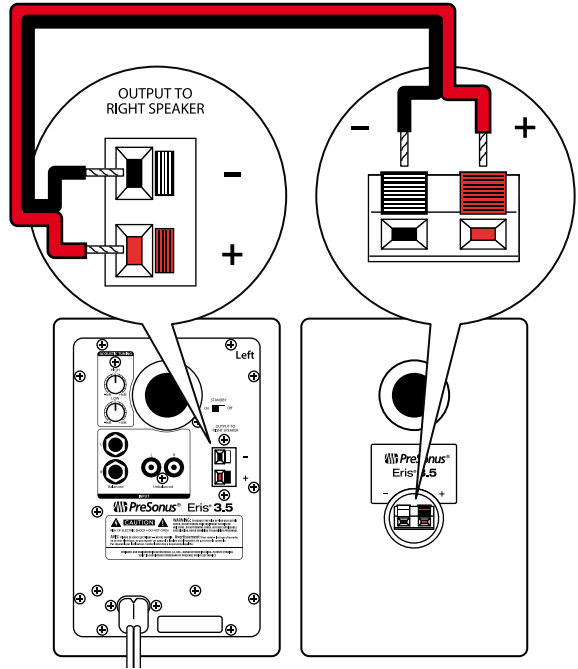
**ヘッドフォン出力：**このヘッドフォン出力は [Volume] ノブでコントロールします。



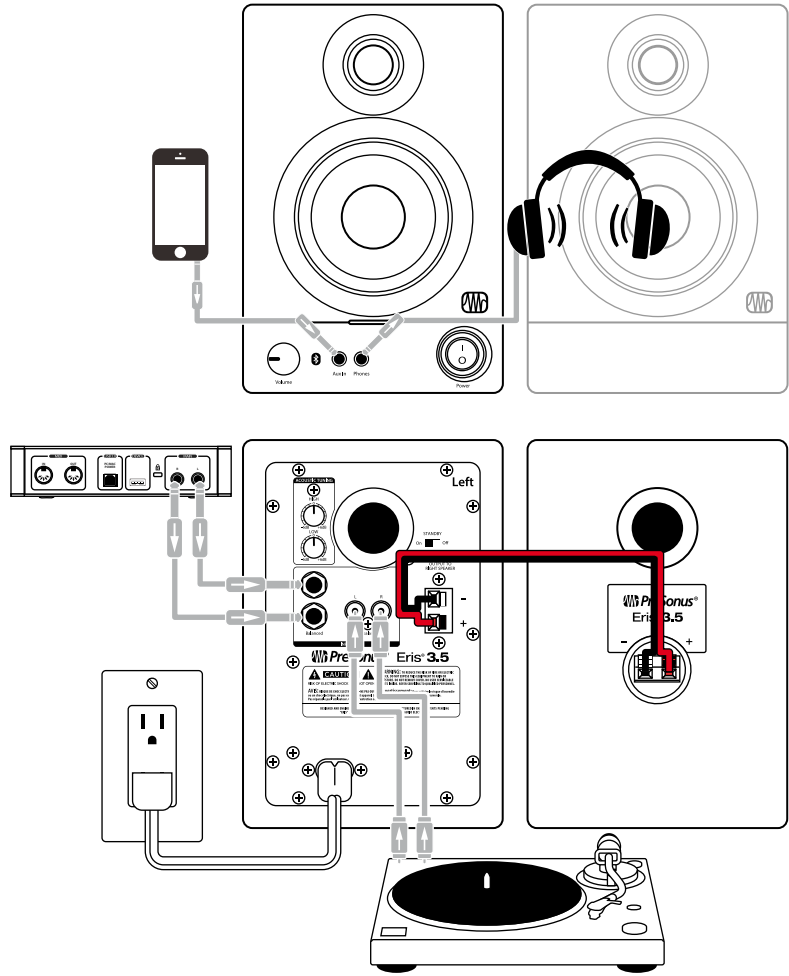
**パワーユーザー向けヒント：**ヘッドフォン出力が接続されている場合、Erisスピーカーへのオーディオはミュートされます。ですので、周りに迷惑をかけることなく、好きなだけ大音量で聴くことができます。

### 3 接続図

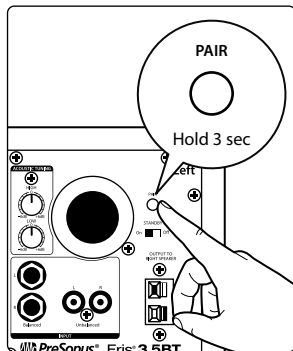
#### 3.1 基本セットアップ



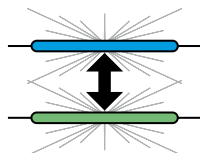
#### 3.2 オーディオ接続



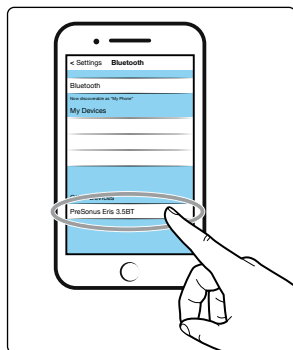
### 3.3 Bluetoothペアリング (Eris 3.5BT、4.5BT、5BTのみ)



Eris 3.5BT、4.5BT、5BTはあらゆるBluetoothデバイスをペアリング接続してオーディオを再生できます。スピーカーをペアリングするには、まずErisアクティブスピーカーのペアリングボタンを3秒間押し続けます。



アクティブスピーカーのフロントパネルの電源/Bluetooth LEDが青と緑に点滅し、ペアリングが有効であることを示します。



Bluetoothデバイスで、「Eris 3.5BT」、「Eris 4.5BT」、「Eris 5BT」のいずれかを選択します。



Erisスピーカーがペアリングされると、電源/Bluetooth LEDが緑に点灯します。

**パワーユーザー向けヒント：**この手順を繰り返すことで、追加デバイスをペアリングできます。Erisスピーカーは2基のBluetoothデバイスペアリングを保存できますが、オーディオのストリーミングは一度にBluetoothデバイス1基のみです。Erisスピーカーの電源を入れると、保存されているBluetoothデバイスが範囲内にあれば自動でペアリングされます。

## 4 リソース

### 4.1 技術仕様

	3.5	3.5BT	4.5BT	5BT
周波数特性	80Hz~20kHz	80Hz~20kHz	70Hz~20kHz	55Hz~20kHz
Peak SPL	98dB (@1M)	98dB (@1M)	100dB (@1M)	104dB (@1M)
LFアンプ出力	25W、クラスAB	25W、クラスAB	25W、クラスAB	50W、クラスD
HFアンプ出力	25W、クラスAB	25W、クラスAB	25W、クラスAB	50W、クラスD
LFドライバー	3.5インチ織物複合材料	3.5インチ織物複合材料	4.5インチ織物複合材料	5.25インチ織物複合材料
HFドライバー	1インチ、シルクドーム	1インチ、シルクドーム	1インチ、シルクドーム	1インチ、シルクドーム
入力 (各1)	バランス¼インチTRS アンバランスRCA 1/8インチステレオ	バランス¼インチTRS アンバランスRCA Bluetooth 1/8インチステレオ	バランス¼インチTRS アンバランスRCA Bluetooth 1/8インチステレオ	バランス¼インチTRS アンバランスRCA Bluetooth 1/8インチステレオ
コントロール	ボリューム 高周波 低周波 パワーセーバー	ボリューム 高周波 低周波 パワーセーバー	ボリューム 高周波 低周波 パワーセーバー	ボリューム 高周波 低周波 パワーセーバー
サイズ (高さx幅x 奥行き)	210mm x 140.5mm x 164mm	210mm x 140.5mm x 164mm	241mm x 163mm x 179mm	261mm x 178mm x 200mm
重量	3.1kg	3.1kg	4.5kg	6.3kg

### 4.2 最高のパフォーマンスが得られるようErisモニターを設定する

1. モニターとオーディオデバイスを接続するには、バランスケーブルを使用してください。バランスケーブルは、3本の導体（2本の信号導体と接地導体）を使用してオーディオ信号を伝送するオーディオケーブルです。バランスケーブルは、ケーブル長に沿って拾われるノイズや干渉をキャンセル（除去）するのに役立ちます。アンバランスケーブルはノイズや干渉の影響を受けやすいので避けるべきです。
2. モニターは必ず適切な電源に接続してください。不安定な電源やノイズの多い電源は、オーディオ信号に不要なノイズを発生させることがあります。必要に応じてサージプロテクターやパワーコンディショナーを使用してください。
3. オーディオ信号のブザー音やハムノイズ、その他のノイズの原因となる電磁干渉を避けるため、ケーブルを電源や他の電子機器から離してください。
4. ノイズを最小限に抑えるため、モニターを正しく配置してください。干渉を避けるため、他の電子機器から適度な距離を保ってください。
5. 適切なゲインステージングは、オーディオ信号のノイズを避けるのに役立ちます。ゲインステージングとは、歪みを回避して最適な音質になるよう、レコーディングやミキシングシステムのオーディオ信号の入力レベルと出力レベルを設定するプロセスを指します。入力レベルが低すぎたり高すぎたりしないようにしましょう。レベルを適度な範囲に保ち、オーディオインターフェースやミキサーの過負荷が生じないようにしましょう。

### 4.3 トラブルシューティング

**電源が入らない。**まず、Erisアクティブスピーカーの電源コードが接続されていることを確認してください。電力調整器に接続されている場合、電力調整器の電源が入っており、正しく機能していることを確認してください。

**音が出ない。**Erisアクティブスピーカーの電源が入っているにもかかわらずオーディオソースからオーディオが再生されても音が聞こえない場合、まず、オーディオソースからアクティブスピーカーへのケーブル接続に問題がないことを確認してください。また、シグナルに十分な振幅を与えるようボリュームコントロールが正しく設定されていることを確認してください。Erisパッシブスピーカーのみがオーディオを通過していない場合、スピーカー配線を確認し、各接続端子にスピーカーケーブルが完全に挿入されていることを確認してください。

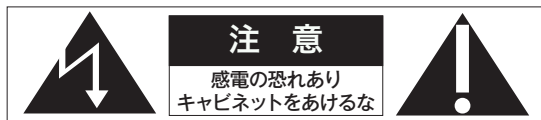
**ハムノイズが出る。**通常、ハムノイズは接地ループにより生じます。すべてのオーディオ機器が同一の電源に接続されていることを確認してください。

**サウンドが細い。**スピーカーのサウンドが細く不安定な場合、スピーカーケーブルが正しく接続されていること（Erisアクティブスピーカー上の正極/赤の接続端子がErisパッシブスピーカー上の正極/赤の接続端子に、同じく負極/黒の接続端子が負極/黒の接続端子に接続されていること）を確認してください。





この度は PreSonus® 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり正しくご使用ください。

●機器に表示されているマークには、次のような意味があります。



注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないで下さい。  
この機器の内部には、お客様が交換できる部品はありませんので、安全のため修理は、お買い上げの PreSonus® 販売店に依頼してください。

 重要な操作方法およびメンテナンス方法の記述が  
製品に付属の説明書にあることを示します。

 機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が  
存在し、感電の危険がある事を警告しています。

## 警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。この機器を使用する前に、以下の指示と取り扱い説明書をよく読んでください。

### ●設置・使用場所に関する注意

- ・湿度の高いところ及び、本機を雨等で濡らす可能性のある場所には、設置、使用はしないでください。火災、感電の原因となります。
- ・火気のある場所及び、湿度の高い場所、油飛びや湯気のある場所には、設置、使用をしないでください。火災、感電の原因となります。
- ・振動、不安定な場所への設置、使用は、落下や転倒等によるけがの原因となることがあります。

### ●使用上の注意

次のような場合は、直ちに電源を切って、電源コードをコンセントから外し、お買い上げの PreSonus® 販売店まで修理を依頼してください。

- ① 機器が（雨等の他）濡れたとき。
- ② 機器に異常や故障が生じたとき。
- ③ 電源コードやプラグが破損したとき。
- ④ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき。
- ⑤ 機器が発煙したとき。

- ・電源に AC100V、又は専用の AC アダプターを必要とする機器は、AC100V の家庭用電源、又は専用の AC アダプター以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ・電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを乗せたりしないでください。又、電源コードが傷んだり、傷つきますと、火災、感電の原因となります。
- ・電池を使用した機器内部には、電池以外お客様が修理、交換できる部品はありません。又、AC100V を使用する機器内部にはお客様が修理、交換できる部品はありません。
- ・この機器に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金等）や液体（水、ジュース等）を絶対に入れないでください。
- ・不快な程の大音量で長時間使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になることも考えられます。万一、耳に異常を感じた場合は、専門の医師に相談してください。
- ・分解、改造等は、行わないでください。品質、安全等が、損なわれる恐れがあります。又、火災、感電の原因となることがあります。
- ・この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。
- ・電源はタコ足配線等の無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット、アンペア）を越えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

## 注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び、物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

### ●使用上の注意

- ・清掃は乾いた布のみで行ってください。
- ・薬品、ほこり、高周波を発生する機器（テレビ、ラジオ等）のそばには設置、使用しないでください。

### ●電源・電池に関する注意

- ・電池を使用する際、保証期間内の指定の電池をご使用ください。又、電池は＋を確認して入れてください。
- ・長期間使用しない場合は、本体から電池を外してください。電池の液漏れにより内部が破損します。電池の液漏れによる故障については当社では保証致しかねます。
- ・使用済みの電池を火中に投げ込まないでください。
- ・長期間使用しない場合、又は使用時以外には電源コード及び、AC アダプターをコンセントから必ず抜いてください。
- ・電源コード、又は AC アダプターをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグ、又は AC アダプター本体を持って、抜いてください。
- ・濡れた手で本機や差し込みプラグに触れないでください。感電することがあります。
- ・電気用品安全法に基づく安全性確保のため、当製品に付属の「電源コードセット」を必ずご使用ください。この「電源コードセット」とは、電源（コード、ケーブル）の両端に差込接続機（プラグ、コネクタ）が一体になったものです。製品に対し、着脱可能な構造となっています。

### ●移動させるときの注意

- ・電源コードを必ずコンセントから抜いてから移動してください。（差し込んだまま移動すると火災、感電の原因となることがあります）
- ・キャスト付き製品は、不安定な場所の設置や移動によって転倒する場合がありますので、安定しているか必ず確認してください。

### ●お子様がいるご家庭で使用する場合の注意

- ・お子様の取り扱いやいたずらにご注意してください。必ず大人の方が監視 / 指導してください。

# 特別掲載：PreSonusの秘伝レシピ

## チキンとソーセージのガンボ

### 材料：

- 中力粉 1カップ
- サラダ油 3/4カップ
- 玉ねぎ 大1個（さいの目切り）
- 玉ねぎ 小1個（4つ切り）
- セロリ 6本（さいの目切り）
- 青ピーマン 大1個（さいの目切り）
- にんにく 3片（2片をみじん切り、1片を丸ごと）
- アンドゥイユソーセージ 450グラム
- 鶏もも肉 4本（4つにぶつ切り）
- 水 4リットル
- ローリエ 4枚
- タイム 小さじ1
- オールドベイシーズニング 小さじ1
- 冷凍オクラ 1〜2カップ（薄切り）
- パセリ（生） 1/4カップ（みじん切り）
- 卵 6〜8個（好みで）

### 作り方：

1. 大型の鍋に、鶏肉、水、4つ切りの玉ねぎ、オールドベイシーズニング、ローリエ2枚、にんにく1片（丸ごと）を加える。蓋をして弱火で煮立たせる。鶏肉が骨から簡単に外れるようになるまで煮込む。鶏肉を鍋から取り出しておく。玉ねぎ、ローリエ、にんにくを鍋から取り出し、スープはそのまま取っておく。
2. 厚手の鍋を中火にかけ、油大さじ1を入れ、ソーセージに焦げ目がついて火が通るまで炒める。ソーセージを鍋から取り出しておく。
3. 同じフライパンで、残りの油を熱する。中力粉を少しずつ（一度に大さじ1〜2）加え、かき混ぜながら炒める。濃い茶色（溶けたダークチョコレートのような色）のルーになるまで、かき混ぜながら炒める。焦がさないよう火力に注意する。
4. ルーが濃い茶色になったら、さいの目切りの玉ねぎ、セロリ、青ピーマン、みじん切りのにんにくを加える。野菜がやわらかくなるまで炒める。蓋はしないこと。
5. スープの1/4をゆっくりフライパンに加え、かき混ぜながら弱火で沸騰させる。
6. フライパンの中身を別の鍋に移し、弱火で煮る。ルーが鍋の底にたまり焦げつくので、蓋はしないこと。
7. 残りのチキンスープ、ローリエ、タイムを加える。30分煮込む。
8. ガンボを煮込んでいる間に、鶏肉を骨から外して裂き、ソーセージを薄切りにする。
9. 鶏肉とソーセージをガンボに加える。弱火で30〜45分間煮込む。
10. 冷凍オクラとパセリを加え、煮立たせる。
11. お好みで：卵1個をティーカップに割り入れ、沸騰中のガンボにすばやく加える。残りの卵も同様に割り入れる。卵同士が近づきすぎないように注意。すべての卵が表面に浮き上がってきたら、火を弱め、煮る。
12. 塩とこしょう（赤、白、黒）で味を整える。
13. ライスにガンボをかけ、ポテトサラダを添える。

### 12人分

# Eris<sup>®</sup> シリーズ 3.5/3.5BT/4.5BT/5BT

メディアリファレンスモニター

オーナーズマニュアル

